

旭川工業高等専門学校「環境・生産システム工学」教育プログラム で養成しようとする技術者像

教育プログラムで養成しようとする技術者は、工業の基幹分野である機械システム工学、電気情報工学、システム制御情報工学、物質化学工学などのそれぞれの専門分野の知識をベースに、異なる分野の知識をも活用し、融合・複合化の進んでいる多様な工業技術システムに関して、地球環境に優しい技術や研究開発を企画、設計、デザインできる能力を持った技術者です。また、社会における技術の役割をしっかりと把握し、常に日本及び世界の歴史、文化を視野に収め、科学技術が社会や自然環境に及ぼす影響を考察し、その社会的責任を自覚する技術者倫理を持った技術者です。

このように、教育プログラムでは、多角的な視点で自ら考え、新たな価値を創造・開発でき、それをシステム化し、あるいは再構築する能力を持った技術者を養成することを目指しています。